

和歌山市中学校総合体育大会  
～秋季大会～  
ソフトテニス競技の部 実施要項

主催 和歌山市体育連盟

1. 日 時 令和3年10月2日(土) 3日(日) 予備日16日(土)  
 2日(土) … 女子個人戦(午前) 男子団体戦(午後)  
 3日(日) … 男子個人戦(午前) 女子団体戦(午後)  
 監督会議: 8時40分 開会式: 9時00分 競技開始: 9時15分 競技終了予定: 17時00分

2. 会 場 つつじが丘テニスコート(下12面)  
 住所: 和歌山市つつじが丘4-4

3. 競技役員

競技専門部長	吉川 豊(高積) 十河 秀彰(伏虎義務)
同副部長	楠本 俊樹(貴志) 児玉 利樹(河西)
競技委員長	谷口 英治(和大附)
同副委員長	臂曲 靖史(高積) 山本 翔(東和)
総務委員長	高山 勉(加太)
同副委員長	守法 孝浩(開智)
審判長	眞野 泰志(東)
同副審判長	辻 慶一(信愛)
審判員	上西 健太(加太) 宇和 瞳(西脇) 谷口 千晴(西脇) 古澤 拓実(伏虎義務) 田中 稚菜(伏虎義務) 平久保暁恵(河西) 植田 夏季(河西) 奥野 里帆(河西) 山口 晏奈(東和) 和田 有矢(西和) 松下 公亮(西和) 栢木 弘晴(城東) 岩瀬幸代(城東) 宇田 遥(西浜) 片野 寿哉(西浜) 橋本 悠哉(明和) 岡崎 涼祐(明和) 三木 博仁(河北) 北口 沙季(河北) 吉田 早織(紀之川) 宇治 文哉(紀伊) 大野 侑里(東) 小山裕史(東) 地阪 大祐(楠見) 安居 宏之(楠見) 雑賀 矩子(楠見) 川島文香(楠見) 苜谷 樹(有功) 米山 利明(有功) 北村 凌(貴志) 瀧本るりこ(貴志) 成瀬 秀平(貴志) 山本絵理奈(貴志) 松田 瞳(和大附) 菊池有紗(和大附) 中野 仁惇(近大附)
記録員	高山 勉(加太) 守法 孝浩(開智)
救護員	橋本 紗良(紀之川) 谷 正子(紀伊) 宮下 友香(向陽)

4. 競技規定 (1)日本ソフトテニス連盟規定「ソフトテニスハンドブック」及び市中体連専門部の規定による。  
 (2)トーナメント方式による。  
 (3)団体戦、個人戦とも5ゲームマッチで行う。  
 (4)使用球 男子 ケンコー 女子 アカエム

5. 参加規定 団体 …… 各校男女共1チーム（4ペア内補欠1ペア）  
個人 …… 各校男女共8ペア以内（但し、2年生及び1年生の団体出場ペアはその限りではない）  
（また、1年生ペアの出場を2組認める）
6. 注意事項 (1)ユニフォームは、テニスゲームシャツと膝より上のテニス用パンツまたはスコートを着用すること。  
(2)テニスシューズを着用すること。靴下はくるぶしより上でハイソックスは不可。  
(3)ラケットは日本ソフトテニス連盟の公認マークが添付されたものを使用する。  
(4)背中に学校名・氏名ゼッケンをつけること。  
ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に県名、校名、氏名を明記する。  
文字は、黒色で漢字または仮名を使用すること。  
(5)服装、用具の色等は華美にならないようにし、蛍光色のものは避ける。  
(6)監督の服装は、選手の服装に準ずる。胸ゼッケンを付ける。  
(7)無観客で大会を実施する。ただし、感染状況によって変更する場合がある。  
(8)応援はすべて拍手のみとする。
7. その他
- ・本大会は県新人大会の予選を兼ねており、団体上位4校・個人上位8ペアが県新人大会への出場権を得られる。（予選出場ペアのまま県大会出場が認められる。）  
（県新人大会：11月6日（土）団体戦 7日（日）個人戦 13日（土）予備日 かわべテニス公園）
  - ・今大会の当番校 信愛・開智・紀伊・貴志・河北・近大附
8. 感染予防対策 参加者は、感染拡大防止のため下記内容を遵守し大会に協力してください。
- (1) 参加者は、大会開始前に検温し、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う参加者当日チェックシート（別添様式：専門部で準備）にその他必要事項を記入し提出すること。  
なお、チェックシートで「ある」に該当する項目があれば、参加は認められない。
  - (2) 参加者の家族に発熱等の症状があれば、参加は認められない。
  - (3) 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行う。試合の前後および審判中はマスクを着用することとするが、体調や気候に応じて外してもよい。ただし審判中に選手と会話をする際は、マスク着用が望ましい。
  - (4) 会場内では他人との距離を2メートル確保すること。また、コート内においてもできるだけ2メートルを確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること。
  - (5) 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接することは控えること。

- (6) 試合前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1メートル以上離れ行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とすること。
- (7) ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声かけも行わないこと。
- (8) 応援者については、声を出しての応援は行わず、拍手のみで応援すること。また、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するように、ペアやチームごとで応援者に注意喚起を行うこと。コート後方に並んでの応援は十分間隔をあけて行うこと。
- (9) 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、ペアやチーム内でのコップの共有、使いまわしを行わないこと。
- (10) 試合終了のたびに、こまめな手洗いを行うこと。
- (11) ペアやチーム内において、感染者が発生した場合は、大会への出場を中止し、関係者へ連絡すること。
- (12) 協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。
- (13) 参加者に感染が判明した場合は、参加者名簿を関係機関に公表する場合があります。